

関西大学高等教育研究 執筆要領

- 1 本誌に掲載される論文等 1 篇の分量（日本語の表題・著者名、英語の表題・著者名、要旨、キーワード、図表を含む）は、原則として以下とする。ただし、編集委員会が認める場合はこの限りではない。
論文 : 20,000 字（12 ページ）以内
研究ノート : 13,000 字（8 ページ）以内
その他 : 6,500 字（4 ページ）以内
- 2 原稿は「原稿テンプレート」に則りモノクロ・Word 形式で作成の上、指定された期限内に投稿を行う。なお本誌に掲載された書類等は返却しない。
- 3 原稿は、サイズは A4 判、マージンは上下左右ともに 25mm、1 行 22 字、1 ページ 40 行の 2 段組みの指定されたフォーマットで作成する。図表を挿入する場合、上に示した総頁数を越えないようにする。
- 4 提出の際には Word 形式の原稿、PDF 形式の原稿、「投稿者カード」、「チェックリスト」を指定された期限までに提出する。
- 5 執筆言語は、原則として日本語とする。フォントについて、日本語は MS 明朝、英数字は Century とする。「タイトル」は日本語と英語で記載する。副題がある場合、日本語では副題の前後に全角「—（ダッシュ）」を、英語では副題の前に半角「:（コロン）」と半角スペースを入れる（改行する場合にはコロンの後で改行する）。「キーワード」は 3～5 語で日本語と英語ともに記載する。英語の「タイトル」、「キーワード」に関しては、専門家（論文内容についてある程度知識があり、英文校閲の能力があると判断されるネイティブもしくは同等の者）の校閲を経たものとする。論文と研究ノートの場合はこれに加えて要旨を記載してから本文を始める。要旨の分量は、400 字以下とする。
- 6 「タイトル」と要旨の間に執筆者（所属）を日本語と英語で記載する。執筆者が複数の場合は、執筆代表者を連名者の筆頭に置き、日本語で全員分記載後、英語で記載する。
- 7 見出しは、すべて横見出しとし、階層構造に応じて頭にアラビア数字で番号を付す。また、項番は連続したものとし、同一の項番が出現しないようにする。10.5 ポイント・MS 明朝・太字とし、半角数字、ピリオド、全角スペースの順で統一する。表記は以下の通りとする。
第 1 階層（章）：1. 2. 3. ...
第 2 階層（節）：1.1. 1.2. 1.3. ...
第 3 階層（項）：1.1.1. 1.1.2. 1.1.3. ...
また、見出しごとに本文の最後に一行改行を入れる。
- 8 句読点は「、」「。」を用い、基本的には括弧は全角の丸括弧を用いる。ただし、括弧の前後が英数字や「,」「.」の場合は半角の丸括弧を用いる。例：Kansai University(KU), Suita University
- 9 図及び表のタイトルには、頭に「図」「表」とつけた通し番号を付し、簡潔な見出しをつける。図表内ではフォントの指定はないが全体を通して見やすく統一すること。また、図表前後に一行ずつ改行を入れる。

- 10 参考文献の存在および引用情報の正確性については、執筆者の責任において確認すること。また、本文における参考文献は、(著者名、刊行年) のように表示する。複数の参考文献を同じ箇所に表示する場合は、「(山手、2013; 垂水、2015)」とする。著者が 2 名の場合は「関大・吹田 (2019) は...」「Michael & Mike (2019)」とし、3 名以上の場合は「関大他 (2019) は...」「Michael et al. (2019)...」とする。同一著者の同一刊行年の異なる文献を引用する場合は、刊行年の後にアルファベットを付して区別する (例: 2006a, 2006b, ...)。
- 11 「註」及び参考文献は、本文の末尾に一括して記載する。本文中での「註」の指示は、上付きの連番で示す。括弧は付けない。参考文献は、「註」の後に著者名のアルファベット順で記載する。また、参考文献の表記は別紙「参考文献の表記について」にしたがう。
- 12 英語以外の外国語の表記について、以下の通り記載する。
- (1) 本文中の表記について
文言の後に括弧付きで和訳を表記する。
例) 日本人の韓国語学習者を対象とした調査では、「일본 (日本)」という単語を正しく発音できる学習者が多かった。
 - (2) 参考文献の表記について
1 件ごと、文言すべての後に括弧付きで和訳を表記する。
例) 김상준(2010)『한국의 교육정책』서울: 한길사 (キム・サンジュン (2010)『韓国の教育政策』ソウル: ハンギル社)
 - (3) その他
和訳の表記は、固有名詞で漢字表記がある場合は漢字優先とし、不明な場合はカタカナとする。ただし、個人名についてはカタカナ表記とする。
体裁やその他要領については、「執筆要領」及び「参考文献の表記について」に沿う。